

支援プログラム

事業所名	ふりーだむ 子ども支援センター
作成日	2025年3月10日



法人理念

- 「こどもがまんなか」
- ・地域の子どもの役に立てる施設づくり
 - ・保護者の精神的なサポート基地
 - ・関係機関と密接に連携のとれる施設づくり

支援方針

- 【身辺自立能力の育成と社会（集団）生活を円滑に送るための方法の習得】
- ・子どものありのままを受け入れ、安心して過ごせる居場所づくり
 - ・親子の心身の健康を第一に
 - ・子ども一人ひとりに合わせた支援で、子どもが自分の力を感じられる支援を
- 【子育て支援 保護者同士のつながりを大切に】
- ・保護者の不安に寄り添い安心して子育てを
 - ・共通理解を図り将来に向けた支援を
- 【学校や関係機関との連携 地域交流など社会体験を大切に】
- ・情報交換、共有を図り目標に向かって進む
 - ・いろいろな活動経験を通して子どもの可能性を広げる

営業時間

- 【平日（放課後）】10:00～18:30
【学校休業日】9:30～18:00

送迎の有無

あり

本人支援

健康・生活	<p>【健康状態の維持と改善】 検温や体調の聞き取り等をおし、健康状態や心身の変化を把握する</p> <p>【基本的な生活スキルの獲得】 手洗いうがい、身だしなみ、身辺整理の指導を行い習慣化をはかる</p> <p>【自立に向けた生活スキルの獲得】 公共交通機関の利用の仕方やお金の管理、食事のマナーを身につける</p>
運動・感覚	<p>【粗大運動】 身体を使ったあそびをとおして体幹を刺激する</p> <p>【微細運動】 道具を使った目と手の協調運動や手先の巧緻性の向上をはかる</p> <p>【感覚調整】 視覚や聴覚など、子どもの感覚特性に応じた環境調整をはかる</p>
認知・行動	<p>【環境の構造化】 スケジュールの視覚化やわかりやすい環境設定を行い、子どもの自発的な行動を促す</p> <p>【概念形成】 学習だけではなくあそびをとおして、空間、時間、数の概念などの認知発達を促す</p> <p>【適切な行動の習得】 集団や個別の活動の中で、認知の偏りやこだわりを配慮しながら習得を目指す</p>
言語 コミュニケーション	<p>【学習支援】 子ども特性に合わせた対応で、読み書き能力の向上をはかる</p> <p>【言語の形成と活用】 ささまざまな言葉にふれる機会を提供し、感情の言語化や自発的な要求を引き出す</p> <p>【基本的なコミュニケーション】 挨拶や場面や相手に合わせた言葉づかいを学ぶ</p>
人間関係・社会性	<p>【関係の構築】 小集団や個別の活動・あそびをとおして他者との適切な関わり方や接し方を学ぶ</p> <p>【自己理解】 自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する</p> <p>【他者理解】 他者の気持ちや意図を理解し、よりよい人間関係の構築につなげていく</p>

家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 ・家庭生活や兄弟児に関する困りごとへの相談・助言 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思を尊重した将来設計を目指す ・併用利用先や学校との情報共有や支援のすり合わせ ・進路や就労に関する本人や家族への相談・助言
地域支援 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにかかわる地域の関係機関との連携を行う ・医療機関との連携や情報交換 	職員の 質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議やケース会議の毎月の開催 ・事業所内外の研修への定期的な参加 ・個別面談を実施し、業務の振り返りや改善を実施
主な行事 など	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事に合わせたイベントの開催（夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど） ・法人内の事業所の合同イベントを行い、地域を超えた交流を開催 ・地域資源を活用した外出活動の企画 		